

## 令和5年4月（第1回）教育委員会 議事録

### 1 開会及び閉会の日時

令和5年4月12日（火）午前10時～午前11時

### 2 場所 本庁舎 本館 302会議室

### 3 出席委員

- ・教育長 松本 謙一
- ・同職務代理者 高坂 真理
- ・教育委員 林 紀孝
- ・教育委員 中川 日登美
- ・教育委員 藤原 洋

### 4 説明出席者

- ・教育部長 笠井 学
- ・教育部次長・生涯学習スポーツ課長 鶴野 幸男
- ・教育部参事・教育総務課長 氏家 智伸
- ・総合政策部次長・こども課長 溝口 早苗
- ・中央図書館長 保市 のり子
- ・教育センター所長 高川 芳昭
- ・文化・世界遺産課課長 上野 容男
- ・高校総体スキー推進室長 平本 光一
- ・教育総務課副参事 山本 佳和
- ・教育総務課主幹 金谷 諭
- ・教育総務課主幹 佐藤 聖子
- ・教育総務課主事 村井 美緒

### 5 傍聴者 なし

### 6 会議の要旨

午前10時、教育長が開会を宣し、議事に入る。

#### 1 教育長の報告

- ・3月15日（水）第2回子ども子育て会議に出席
- ・3月20日（月）城端温水プール要望書を市長室にて受け取り
- ・3月22日（水）第2回南砺市いじめ問題対策連絡会議に出席
- ・4月5日（水）利賀未来留学入園の集いに出席

その他、教育長が出席した会議・行事について概要説明があった。

#### 2 前回議事録の承認

全員異議なく承認した。

#### 3 協議事項

- (1) 令和5年度南砺市教育委員会重点施策（案）について  
各担当課長から説明した。
- (2) 教育長の服務に関する承認事項について  
教育総務課長から説明した。
- (3) 南砺市立学校に勤務する県費負担教職員の私有車の公務使用  
に関する取扱い要領について  
教育総務課長から説明した。

#### 4 報告事項

- (1) 市職員の人事異動について  
教育部長から説明した。
- (2) 令和5年度学校訪問研修について  
教育部副参事から説明した。

- (3) 国登録有形文化財の登録について（山田家住宅洋館他3件）  
文化・世界遺産課長から説明した。
- (4) 富山県文化財登録制度の創設にかかる市への事務移譲への  
同意について  
文化・世界遺産課長から説明した。
- (5) 令和5年度南砺市教育センター研修事業計画について  
教育センター所長から説明した。
- (6) 令和4年度全国体力・運動能力等調査南砺市の結果について  
教育センター所長から説明した。

## 5 その他

- (1) 令和5年度南砺市民大学講演会について  
生涯学習スポーツ課長から説明した。
- (2) 南砺市立図書館4月の事業について  
中央図書館長から説明した。

## 6 今後の日程

次回教育委員会開催（予定）

日時 令和5年5月16日（火）午後2時

場所 本庁舎 本館 302会議室

## 7 議事

### 協議事項について

#### 協議事項（3）関係

○教 育 委 員 8ページの「1 制定改廃の趣旨」について、「1年未満の運転経験であっても、県内に限り、公務での運転を可能とする。」という内容がこの文面だと分かりづらい部分があった。

再度、記載内容について検討いただけたらと思う。

○教 育 長 県の要領等も改めて確認し、誰が見ても、何のための制度改廃なのかが分かるよう、再度この8ページの内容については検討させていただく。

### 報告事項について

#### 報告事項（3）関係

○教 育 委 員 13ページにある、今回、国登録有形文化財として登録された「山田家住宅洋館他3件」について、今後、登録された施設の公開等を行う予定なのか。

○事 務 局 この国登録有形文化財については、あくまでもその所有者の方が登録される、という趣旨である。そのため、市では、直接施設の公開等に関わることはない。今後の施設の活用方法については、地域の方で現在検討されているという話をお聞きしている。

## 報告事項（５）関係

- 教 育 委 員 令和４年度の教育センターで計画された研修の感想は、研修後のアンケート等の中で取っているのか。もし可能であれば、研修を受講された方の感想も教えてもらえればと思う。
- 事 務 局 研修後に、受講された方へは感想をアンケート内で伺い、来年度の研修計画のためにも、その研修が効果的だったかどうかということを確認している。
- さらに、今後どのような研修が必要だと思うかということも併せてアンケート内では伺っている。
- 今後、教育委員会の際に、研修を受講した教員の方の感想等も委員の方々に資料としてご提示することも検討する。
- 教 育 委 員 南砺市の教員は現在若手が多い。若手世代の上の世代も少なくなっており、若手教員が中堅になってすぐに、教頭や教務主任等の役職につくことになるケースが今後より増えていくことが考えられる。
- そのような状況下のため、中堅の教員から、学校を任せられることのできる人材を育てるような研修も必要になってくるかと思う。是非今後検討してほしい。
- 事 務 局 令和６年度以降の研修企画に向けて検討していく。
- 教 育 委 員 教頭、校長、教務主任の自主研修は現在も行われているかと思うが、研修の中身は事務連絡や、次の研修に何をするかという内容に追われているように思う。
- 自分が管理職として学校で勤務していた際にも感じたことだが、該当の児童の担任や学年の先生単位でしか把握されていないこと（要保護児童についての協議会等）や、行政で行われている家庭と学校をつなぐための制度や取組について等、管理職が知らないことが実は多くある。そういった内容について、管理職が学ぶことができる研修等はあればと思う。
- 事 務 局 昨年度からの取組として、こども課に「こども家庭相談室 スマイルなんと」を立ち上げたこともあり、委員がおっしゃられた要保護児童対策協議会の役割、また虐待の対応について、そして学校内で児童の対応やご家庭に関する相談や困りごと等があれば、いつでもこども家庭相談室に相談してほしいということ、校長会・教頭会、そして保育園の園長会の際に管理職の方に向けて説明、周知を行っているところである。

そういった取組の効果もあり、昨年度は学校からこども課への相談件数はかなり増えた。

今後についても、教育総務課や教育センターと連携し、委員のおっしゃられた内容について、教育センターで計画している研修の中にこども課主催の研修を組み込む等、より周知を徹底していきたい。

午前11時、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。

令和5年 月 日

南砺市教育委員会

教育長